

平成29年度予算

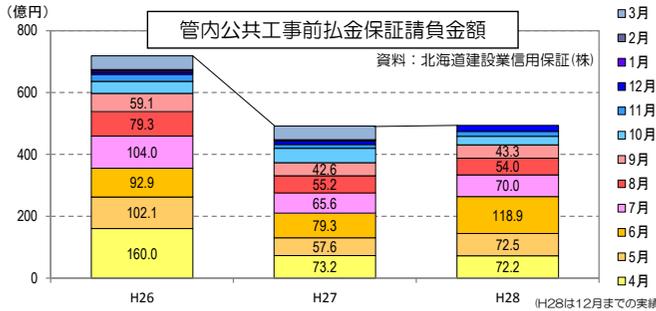
景気対策事業

総事業費 2,939,787千円



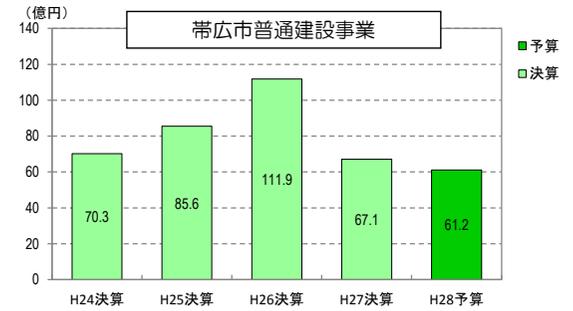
※再掲除く ※前年比39.6%、833,439千円増（平成28年度総事業費 2,106,348千円）フード/ローとかち

地域経済の状況



＜日本銀行帯広事務所「十勝の金融経済概況」平成28年12月8日＞
 ◇十勝の景気は、台風被害の影響等から全体としては足踏み状態にある。
 ◇公共投資は、緩やかに増加している。

＜財務省帯広財務事務所「とかち経済情報」平成28年11月＞
 ◇管内経済は、台風被害等の影響により、一部に弱い動きがみられる。
 ◇公共事業を前払金保証請求負金額で見ると、治水や農業基盤等が増加しており、前年度累計を上回っている。



景気対策事業の実施

十勝帯広の経済は、公共事業が穏やかに増加しており、有効求人倍率が前年同期を上回っているものの、設備投資や住宅投資、個人消費は一部に明るい動きが見られるが、全体としては弱めの動きとなっている。

今後、台風がもたらした生産・観光面への影響や企業・家計のマインドへの影響などに注視しながら、災害の早期復旧を進めるほか、右の点に配慮しながら景気対策を実施するもの。

1. 地方版総合戦略の本格的な推進に向け、地方創生の深化のための交付金を活用しながら、地域経済の活性化、雇用の確保につなげるとともに、受注機会の拡大のため、必要性の高い事業の拡充や、事業者の規模に配慮した上で発注を行う。
2. 間断ない発注を行うため、前年度の3月補正予算において債務負担行為を設定し、発注を前倒しするほか、工事の閑散期となる冬期間の雇用にも配慮する。

国の経済対策の活用 総額 313,057千円

- 【ソフト事業】
- 地方創生推進交付金の活用 事業費：272,157千円
 - ・十勝・イノベーション・エコシステム
 - ・十勝アウトドアブランディング事業
 - ・公共交通・観光活性化拠点施設整備事業
 - ICTまち・ひと・しごと創生推進事業 事業費：28,900千円
 - ・子育て支援機能や健康管理機能を備えた帯広市すこやかネットを構築
 - 【ハード事業】
 - 道営農地整備事業 事業費：12,000千円
 - ・農業基盤整備

災害復旧事業 総額 1,097,210千円

- 台風被害を受けた河川緑地、橋、道路、林道などの復旧

規模に配慮した発注 総額 566,398千円

- 【大規模】
- 生活基盤の整備 事業費：157,200千円
 - ・特殊舗装整備、オーバーレイ
 - 公共施設の整備 事業費：217,710千円
 - ・川西児童保育センター、西陵中学校トイレ改修 など
 - 【中規模】
 - 公共施設の改修 事業費：161,252千円
 - ・グリーンプラザ、小中学校、百年記念館 など
 - 公共施設の安全対策 事業費：6,812千円
 - ・川西合同庁舎
 - 【小規模】
 - 小規模営繕の活用 事業費：2,624千円
 - ・小中学校、コミュニティセンター など
 - 交通安全注意喚起看板設置 事業費：800千円
 - 住まいの改修助成金 事業費：20,000千円

発注時期の配慮 総額 902,530千円

- 早期発注（債務負担行為設定） 事業費：894,300千円
 - ・生活道路整備、特殊舗装整備、配水管整備、下水道管渠整備、空港エプロン拡張工事 など
- 冬期間の発注 事業費：8,230千円
 - ・河川木、街路樹の剪定 など
- 【雇用の確保 総額 68,822千円】
- 季節労働者対策 事業費：41,417千円
 - ・10事業、雇用人数 138人（うち1事業8,230千円は冬期間の発注の再掲）
- その他雇用対策 事業費：27,405千円

（一部3月補正予算計上、繰越明許）

